

科学技術・イノベーション（STI）政策 ネットワークを活用したEBPM人材の育成

令和8年度要求額
(前年度予算額) 52.3百万円
450百万円)

資料1
科学技術イノベーション政策における
「政策のための科学」アドバイザー委員会
(第24回) R7.11.28



背景・課題

- 平成23年度から開始されたSciREX事業において、STI政策のための科学に関する基盤的研究・人材育成拠点を形成しており、本事業は令和7年度に最終年度を迎える。
- SciREX事業では、拠点間の連携や、STI政策の推進のためのデータの充実、研究者と行政官が連携した政策の企画立案、学生・研究者・行政官のネットワーク構築など、一定の成果があった。
- STI政策を取り巻く環境変化や政策立案に資する最新の知見も踏まえつつ、SciREX事業で構築された人的ネットワークを最大限活用して文科省のSTI政策立案機能及びSTI政策におけるEBPMの素養を高める。

事業内容



政策のための科学の推進に有用な、新たな学問分野（例：AI、ネットワーク科学等）の知見を取り入れるため、当該分野に造詣の深い研究者、研究機関へとネットワークを拡大するとともに、それらの知見を活用した人材育成を進める。具体的には、

- （1）文科省職員・FA職員への研修を行い、引き続き行政官の能力向上を進める。
- （2）「STI政策のための科学」を学ぶ学生や教職員を集めて大型ワークショップ「サマーキャンプ」を行い、ネットワークの活性化を図る。
- （3）「STI政策のための科学」に関する知見を紹介・議論するセミナーにより、研究者・行政官間で政策形成と政策研究の深化を促す。
- （4）SciREX拠点校以外の、STI政策のための科学に関心のある大学・関係機関や、政策のための科学の推進に有用な新たな学問分野（例：AI、ネットワーク科学等）に強みのある大学とも連携を強化する。

※上記のほか、非常勤職員手当等の府内経費として20.5百万円を計上。

（担当：科学技術・学術政策局研究開発戦略課政策科学推進室）